



Rainbow color communication

にじいろ通信

つうしん

一人はみんなのために みんなは一人のために



鳥居と高千穂の峰

CONTENTS

- P2 山下院長 新年の挨拶
- P3 第2回 地域医療懇談会開催報告
- P4・P5 対談シリーズ「当院の新・小児科体制について」
(玉江末広医師) × (楠元真由美医師)
- P6 社会法人 白光会 島田泌尿器科医院 紹介
- P7 第1回霧島循環器実地診療セミナーを終えて
多職種カンファレンスについて
- P8 2020年1月の外来体制



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院



院長 山下 義仁

あけましておめでとうございます。2020年オリンピック・イヤーの始まりです。旧年中は大変お世話になりました。おかげさまで多くの患者様をご紹介頂き大変ありがとうございました。

昨年は先生方に大変多くのご迷惑をおかけいたしました。医師不足から土曜午前の予約外来を5月から閉鎖せざるを得なくなり、さらに12月からは働き方改革の長時間労働の是正のために土曜午前の一般外来を中止せざるを得なくなりました。11月に開かせていただいた地域医療懇談会の場でお話しさせていただいた通り、ご紹介や救急搬入はこれまで通りお受けしていますので、ご遠慮なくご利用ください。

さて昨年は地域医療構想の具体化がかなり明らかになった年でもありました。厚生労働省が国公立病院の統廃合等を進めるよう全国424の病院を明らかにしました。始良伊佐地区での2病院は対象とはなっていませんでしたので、これらの病院を軸に連携を深めながら、医療を展開していけばよいのだろうと思うところですが、しかしまだその先があるようです。それは民間の病院の統廃合といわれています。医師をはじめとした医療従事者の数に限りがあるためある程度の集約は避けられないのが現状ではありますが、医療機関の削減はアクセスの悪さに直結します。日本の医療の優位性は質の高さとアクセスの良さだと思いますが、始良伊佐地域にも山間部など今でも医療機関の少ない地域があり、良い医療が提供されない事態が起こりかねません。疾患の重症化や死亡率の上昇が懸念されます。私たちの病院は、地域の組合員さんの期待に応える存在であり、それは先生方との連携においても同じです。今年は医師の充実を図りつつ、内科を中心とした急性期病床をしっかりと守り質を上げていくことを進めていきたいと考えています。

本年もよろしくお願い致します。

第2回地域医療懇談会 開催

当院では、近隣医療機関への医療活動紹介・意見交換を含む地域連携強化を目的に11月27日（水）に、第2回地域医療懇談会を開催しました。霧島・始良、鹿児島を含む36医療機関から64名（医師29名、看護師14名、事務その他22名）、院内参加者24名、計88名の参加となりました。

今回、院長の山下より医療活動の紹介、中野診療部長より循環器医療について、それぞれ講演を行いました。診療体制上、土曜日が休診となる中でも、今後も引き続きご紹介は受け入れさせて頂くこと、小児科の入院紹介が時間外も含めて受け入れをしやすいになったこと等を地域の先生方にもお知らせできました。また、霧島市立医師会医療センターの柳先生から、医療センター新築後の展望、地域医療を行うための横のつながりの大切さをとても分かりやすくご講演頂きました。

日頃の業務では、なかなか顔の見えない中での連携ではありますが、今回の懇談において、「顔の見える関係」の構築につながったと思います。

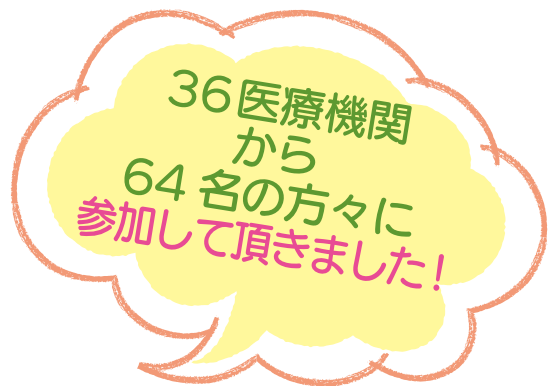
参加した先生方からは、「霧島地域で国分生協病院がこのような懇談会を開いてくれるおかげで、顔の見える化が浸透し、非常にありがたい」「参加することで、医療機関の情報を把握しやすい懇談会だった」等の声を頂くことが出来ました。

今回の懇談会をきっかけに、参加された医療機関同士の連携が向上することを期待し、今後もこのような懇談会・学習会を開催したいと思います。

ご参加頂いた医療機関の方々、ありがとうございました。引き続き、当院との連携をよろしく申し上げます。



参加職員



柳先生講演



会場の様子

対談

当院の新体制

小児科学会専門医

玉江末広医師

子どもとご家族が安心して
入院治療を受けられる
環境を作っていきたいと思えます。



楠元：では、10月から小児科の医師が充実したことを踏まえて、現状の体制を教えてください。

玉江：2019年9月まで、酒井先生が小児科診療を一人で担ってきましたが、10月から私（玉江）が鹿児島生協病院より赴任、楠元先生が兵庫県立子ども病院より8年半ぶりに帰って来ました。小児科が二人体制になり、新しい展望を開く決意で、10月、11月は楠元先生と私、地域連携室の3人で近医の小児医療機関、行政（市役所、教育委員会、保健センター）などを訪問しました。開業医さんの声を聞くと、やはり鹿児島市内の病院まで入院をお願いすることが多く、国分生協病院で入院が出来るようになると大変助かりますと喜びと励ましの声を頂きました。

楠元：地域からも喜びの声をいただくことはとても励みになりますね。では、今後の当院の小児科の展望を教えてください



小児グループ集合写真

玉江：1. 入院医療

近医の先生方と医療ネットワークを作り、看護師さんとの学習会、カンファレンスに力を入れて、小児の入院を快く引き受け、子どもとご家族の方が、安心して入院治療を受けられる環境を作っていきたいと思えます。

2. 外来医療

外来看護師、病棟看護師、小児科担当事務、医師の外来会議を充実させ、気になる患者さんのカンファレンス、最近の流行状況、ワクチンの接種状況などを話しあい、今後の小児科医療をどのようにしていけばよいか、皆で知恵を出し合って、民医連らしい小児科外来を目指そうと思えます。



玉江医師 診察の様子

リーズ

・小児科 について

小児科学会専門医
楠元真由美医師



小児科医療について、地域の期待に応えられる病院を目指します。

また現在の小児医療は、患者さんの病気を見ることは、もちろんですが、予防医学が最も重要と考えています。今までワクチン後進国と批判されて来ましたが、ワクチンの定期接種が、やっと西欧諸国並みになり、日本でもおたふくかぜワクチン以外は定期接種になりました。当院でもワクチン希望の患者さんが多く、現在の予防接種単位では、対応できなくなってきたので、インフルエンザワクチンは、枠を午前外来でも 10 人を設けました。今後もワクチンを含めた予防医学に力を入れていきたいと思っています。



小児外来看護師

3.社会に目を向ければ、子どもの貧困問題が大きな話題になっています。豊かな見える日本で、6人に1人が貧困と言われています。外来においては、自分が貧困だと訴える患者・保護者はほとんどいません。以前みたいに服

装が汚いなどの外見で評価することは難しい状況です。診察終了間際に来る患者さんだったり、クレイマーだったり、医療者が避けたいような家族に貧困が潜んでいると言われていきます。また時々テレビで話題になっている虐待問題も小児科外来では大きな問題となっています。これらの問題は、医療機関だけでは解決できない問題も多くあり、行政機関とも力を合わせながらこれらの問題にも取り組んでいきたいと思っています。

楠元：では、最後に地域の先生方へのメッセージをお願いします。

玉江：国分に赴任したばかりで、医療状況、医療情勢など解らないことだらけです。地域の先生方と協力しながら、霧島始良地区の小児科医療、子育ての支援が出来たらと思います。



楠元医師 往診の様子



地域の開業医の先生方より

～ 社会法人 白光会 島田泌尿器科医院 ～

信頼と安心と真心で、患者の笑顔を守りたい。

院長 島田 剛 (しまだ たけし)

平成10年1月某日、国分生協病院に救急搬送されました。以後、何回か緊急受診してもらいましたが、時間外でも医師、スタッフの皆様の優しい言葉と、心遣いに、感激しました。

平成16年には鴨池生協クリニックに、1.5ヶ月入院しました。スタッフの励ましと、「一緒に頑張りましょう」という言葉に、目頭が熱くなりました。受診する度に「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という生協病院の基本方針と理念を感じます。

H28年1月まで様々な病院に計7回入院しましたが、なぜか今、こうして生きて働けるのは、先生方のおかげといつも感謝しています。

「おまけの人生」をいただいた上に、仕事でも多くの患者様を紹介していただき、毎日感謝しています。

平成3年4月1日 島田泌尿器科医院開院

平成5年 医療法人 木蓮会 島田泌尿器科医院

平成27年4月 社会医療法人白光会 島田泌尿器科医院として再スタート。透析患者88名 常勤医師2人、非常勤の腎臓内科医2名、非常勤泌尿器科医3名で診ています。

性格や、病歴、家族歴など違う多くの透析患者を理解するためには、医療技術だけではなく、患者の目や耳、口、体から見えない気持ちや症状を読み取らなければ、信頼は得られません。患者の背景、性格、症状を把握してこそ、治療がスムーズにいくと感じています。

それぞれの患者には、様々な病態や、生き様があります。患者から沢山のことを学ぶことができます。

ご紹介いただいた透析患者様の病歴や、経過は空で言えるくらいに、暗記するようにしています。

先生方からご紹介いただいた、大切な患者様のために、スタッフ一同、「信頼と真心で、患者の笑顔を守りたい」と努力しています。公私ともよろしくお願い致します。



会合の時など、息苦しくなるトラウマのせいにして、夜の集会や飲み会など、避けて、「義理を欠く」生活をしています。

「孤独が好きなんです」と、粹がってみても携帯は持たされるし、SNSでは人とつながっているから、本当の孤独を楽しめてはいないかもしれないが、こうして、潮風と共に海の香が漂うこの場所で沈む夕日を眺めながら、ハーモニカを吹く時々、野良猫が怪訝そうな顔つきで、近づいてくる、誰も聞く人もいないけど、こんなひと時が、貴重で最も落ち着く。皆で吞んで、歌って、楽しんでいた昔もよかったけど、静かに読書や音楽、勉強、趣味を謳歌するバラ色ではないけど、こんな琥珀色の時間が、楽しめる年齢になりました。



第1回霧島循環器実地診療セミナーを終えて

さる10月23日に国分生協病院会議室で、第1回霧島循環器実地診療セミナーを開催しました。第1回は鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教室教授の大石充先生をお招きして、“2019年高血圧診療ガイドライン～ここだけは知っておきたい”と題し、最新の高血圧の診断・治療について講演をしていただきました。現代日本で4000万人を超える患者がいるといわれる高血圧診療は一番私たち臨床医の身近な分野ですが、大石先生の講演では患者が意外と本当の測定値を記録しない家庭血圧測定の思わぬ落とし穴や、検尿の大事さ、サイアザイド系利尿剤の重要性など、“目から鱗”の話満載の素晴らしい講演でした。明日からすぐ役立つ話であると共に、改めて日常診療に力を入れようと思わせるお話でもありました。講演には国分生協病院職員ばかりでなく、12医療機関23名（医師14名）に参加いただき、会場も満杯状態であふれていました。

今後、地域の先生方にも協力をいただき、鹿児島大学をはじめとするエキスパートの講師を招いて、循環器実地診療に直結するセミナーを開催していきたいと考えています。今後ともよろしくご参加をおねがいします。



多職種カンファレンスについて

当院では今年の3月から、多職種カンファレンスを行っています。対象者は入院患者65歳以上の方を主に対象としています。多職種カンファレンスは、対象者が入院して3日目に行い、カンファレンスを開催するまでの3日間を、患者の入院前状況を情報収集する時間としています。参加メンバーは医師、ベッド管理師長、病棟看護師長、病棟看護師、社会福祉士、セラピスト、薬剤師、管理栄養士、退院支援看護師です。これまでも多職種が専門性を発揮してはいましたが、一同に集まってカンファレンスをする機会は少なく、情報共有というのが課題でした。このカンファレンスを行う事で、早期から一人の患者に向き合う事ができ、更なる専門性の発揮に繋がっています。また、同じ目標で一人の患者に介入することができるので、入院から退院まで一貫した看護ができています。今後も多職種で連携しながら、当院の理念である「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神で、地域に根差した病院を目指して行きたいと思えます。



2020年1月外来体制についてのお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当院は、一般急性期を担う医療機関として、限られた医師体制にて入院機能を保てるよう、2019年12月より土曜日の外来を休診することとなりました。

従来通り、紹介の方は対応させていただきますので、ご一報下さい。急な変更で多大なご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご高配をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

2020年 1月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	一般内科 (8:45~11:30)	中野	吉見	長谷	山下	吉見	救急対応 急患のみ (紹介受入可)	
	専門 外来 (8:45~ 11:00)	循環器	吉見	中野	吉見	吉見		
		呼吸器	山下	檜田祐一	隈元			檜田祐一
		消化器・肝臓		小坂元	小坂元			小坂元(第1・2)
		腎・膠原病	前村(良)	吉峯		前村(良)		
		神経内科				武井		
	外科 (9:30~12:00)			税所		税所		
小児科 (9:00~12:00)	玉江	玉江(一般) 酒井(第2:特診)	玉江	森田	玉江(第1・2・3) 支援(第4)			
午後	内科	14:00~17:00	檜田祐一	檜田祐一		久保	久保	
		予約のみ 15:00~17:00		山下(禁煙外来)		武井(神経内科) 小坂元(14:00~)	山下	
		17:00~18:30	交替	交替		交替	交替	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00		玉江 ※予約制			玉江(第1) 交替(第2・4) ※予約制	
		16:00~18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00~18:30) 玉江 (一般+予約)	(14:00~17:00) 予約のみ 酒井(第2・4)		(14:00~16:30) 予約のみ 森田(第1・2・4)	楠元(一般+予約) (16:00~18:30) 玉江(第3/予約のみ) (14:00~17:00)	

※平日の専門外来への紹介は予約制となっておりますので、事前にお電話をお願いします。

※急患の方は、従来通り電話(0995-45-4806)にてご相談下さい。



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>